農村におけるリウマチ性疾患の地域別統計調査成績

広瀬俊一*, 野田喜代一**

はじめに

慢性関節リウマチをはじめとするいわゆるリウマチ性疾患の罹患率は、全国的には、3%前後といわれている。わが国におけるこれらリウマチ性疾患の発生頻度については、すでに、厚生省難病疾患調査が存在するが、農村地域における調査は今まで行われていない。そこで、わたしたちは農村地域におけるリウマチ性疾患の実態を把握するために、全国農協厚生連関連診療機関にアンケート調査を依頼し、それぞれの機関がとりあつかった診療件数から、その診療圏におけるリウマチ性疾患の発生頻度を推測してみることにした。

調査疾患はリウマチ性疾患のうち、慢性関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎、多発性筋炎、強皮症、結節性動脈周囲炎、リウマチ熱に限定した。診断は現実の診断の状況を知るために各診療機関の自主性に依存した。今後、診断基準に照らしての調査が必要となるものと考えられるが、今回の調査でも、少なくともこれら診療圏での概況は知り得るものと思われる。

調査対象

全国厚生連関連医療機関におけるリウマチ性疾患に関する調査は、九州を除く全国各地でアンケート形式により行われた。

各地区別診療機関への依頼数、回答数および回答率は、表1、図1のごとくで、全体としては48%の回答率であった。

回答を頂いた各機関の全診療件数を、年次別、地区別に集計し、依頼した各地区全体の全診療件数に対す

表1. アンケート回答率

	依頼数	回答数	回答率(%)
北海道	18	8	44.4
東北	23	12	52.2
関東	15	5	33.3
北陸・信越	27	12	44.4
東海	27	14	51.9
近畿	1	1	100.0
中国	12	7	58.3
四国	6	4	66.7
合計	129	63	48.8

図1.

* 東京大学医学部物療内科

** 神奈川歯科大学内科

受付：昭和54年12月14日

本研究は、昭和53年度全共連委託研究として実施した。

る比率を算出してみると、表2、図2のごとくであった。すなわち、昭和49年より52年まで各々52.0、53.6、51.5、51.9%、全体として52.2%となり、診療件数と

しても 50%を超える件数が調査対象となっていることを示している。ほとんどの地区で、年度による変動はみられなかった。したがって、今回の調査は、全国

厚生連関連医療機関受診件数の 50%を超えるものに対して行われたことになる。

表 2. アンケート回答の診療件数

		昭和 49 年		昭和 50 年		昭和 51 年		昭和 52 年		合 計	
北 海 道	(1)依頼数	2,093,180	%	2,078,708	%	2,049,282	%	2,052,452	%	8,273,622	%
	(2)回答数	710,561	33.9	710,419	34.2	649,403	31.7	660,557	32.2	2,730,940	33.0
東 北	依頼数	3,250,760		3,297,437		3,311,613		3,331,338		13,191,148	
	回答数	2,151,458	66.2	2,167,686	65.7	2,167,165	65.4	2,181,156	65.5	8,667,465	65.7
関 東	依頼数	2,319,519		2,169,736		2,456,366		2,477,732		9,423,353	
	回答数	1,121,292	48.3	1,113,138	51.3	1,153,948	47.0	1,150,286	46.4	4,538,664	48.2
北陸・信越	依頼数	4,814,023		4,908,978		5,107,498		5,165,978		19,996,477	
	回答数	2,264,831	47.0	2,314,312	47.1	2,444,530	47.9	2,527,699	48.9	9,551,371	47.8
東 海	依頼数	5,606,675		5,598,442		5,562,527		5,636,321		22,403,965	
	回答数	2,563,269	45.7	2,548,266	45.5	2,460,732	44.2	2,541,534	45.1	10,113,802	45.1
近 畿	依頼数	68,875		64,770		58,376		49,247		241,268	
	回答数	68,875	100	64,770	100	58,376	100	49,247	100	241,268	100
中 国	依頼数	1,271,033		1,293,525		1,248,391		1,256,016		5,068,965	
	回答数	995,165	78.3	1,040,400	80.4	1,011,850	81.0	1,012,260	80.6	4,059,675	80.0
四 国	依頼数	1,161,605		1,711,808		1,302,288		1,303,764		5,479,465	
	回答数	826,379	71.1	1,354,574	79.1	911,816	70.0	923,533	70.8	4,016,302	73.3
合 計	依頼数	20,585,670		21,123,404		21,096,341		21,272,848		84,078,263	
	回答数	10,701,830	52.0	11,313,565	53.6	10,857,820	51.5	11,046,272	51.9	43,919,487	52.2

(1) アンケート依頼機関の全診療件数 (2) 回答機関の全診療件数

図 2. アンケート回答のあった診療件数の、アンケート依頼全数に対する百分率

各疾患別の診療件数および頻度

A. 慢性関節リウマチ (RA) (表 3, 4)

各地区いずれも年を追って RA 診療件数の増加が認められる。この傾向は、診療件数の増加によるのみでなく、全診療件数に対する比率でも上昇する傾向にある。

B. 全身性エリテマトーデス (SLE) (表 5, 6)

SLE 診療件数は、全体として増加の傾向は認められるが、東海、中国、北海道以外は明らかでない。しかし、その全診療件数に対する比率では、中国、北海道で上昇が認められる。

C. 皮膚筋炎 (DM) (表 7, 8)

DM 診療件数の増加と共に、地区別では東北で全診療件数に対する比率の上昇がみられる。

D. 多発性筋炎 (PM) (表 9, 10)

全体としての PM 診療件数の増加はあるが、地区別での傾向は、PM 診療件数の増加、全診療件数に対する比率の上昇もみられない。

E. 強皮症 (PSS) (表 11, 12)

全体としての増加があり、全診療件数に対する比率の上昇もあるが、東北、北陸信越、東海、中国に PSS 診療件数の増加がみられる。全診療件数に対する比率の上昇もこれらの地区に認められる。

F. 結節性動脈周囲炎 (PN) (表 13, 14)

全体として PN 診療件数の増加がある。中国に地区的傾向が認められる。全診療件数に対する比率も同じ傾向をもっている。

G. リウマチ熱 (RF) (表 15, 16)

全体として RF 診療件数増加は明らかでなく、また、全診療件数に対する比率の増加も明らかでない。地区別には東北で増加傾向がみられ、また、全診療件数に対する比率の上昇もみられる。北陸信越では、むしろ、減少傾向にある。

H. その他の疾患 (ベーチェット病 Beh, シェーグレン症候群 SjS, フェルティー症候群 F, MCTD, 若年性関節リウマチ JRA, Overlap Syndrome OS) (表 17, 18)

これらについては散在し、49—52 年を通じ、Beh が 139 件あり、以下 31, 3, 1, 2 例と僅かであった。この全体としての全診療件数に対する比率も 10 万件当たり 4.88 となっている。これらの疾患では、増加傾向など不明である。

各疾患の件数、頻度については、何れも増加傾向に

あると思われる。これは、全診療件数の増加によるのではなく、地区による差はあるにしても全診療件数に対する比率としても増加している。

このことは、実数が増加していることと共に、診断が容易になりつつあり、また、診療側の認識の問題もあると思われる。

各疾患の各地区での診療件数の全診療件数との比率 (表 19—26)

4 年間を通じて、全診療件数に対する比率からみると次のごとくなる。

RA は、関東、東海、中国と高く、逆に北海道、北陸信越と低い。

SLE は、中国、東北に高く、四国に低い。

DM は、中国、東北、北海道に高く、関東、四国に低い。

PM は、東海、中国に高く、北海道、四国で報告がない。

PSS は、東北、中国に高く、北海道、四国に報告がない。

PN は、東海に高く、北海道、関東、四国に報告がない。

RF は、関東に高く、東海、北海道では低い。

その他 (Beh, SjS, F, MCTD, JRA, OS) では、一応、東北、中国で高く、東海で低い。

各地区について各疾患をみると、表 19—26 のごとくで、何れの地区でも、RA, SLE が多く、RA はすべてでその大部分を占めている。とくに、他疾患との比率では、四国、関東、東海が多い。

総括および結論

以上のデーターを全国における各リウマチ性疾患の患者数、および診療件数と比較することは困難である。すなわち、診療圏全体の対象人口が不明であり、また、これらの診断についての問題もある。これらについては、より詳細な、すなわち診断基準にのっとったのアンケート調査が必要である。しかし今回の調査によって、少なくとも全厚連の診療機関におけるリウマチ性疾患の動向については知ることができた。そして、そのいずれの疾患も増加傾向にあることを知った。このさい、とくにこれらの疾患が難病であり、しかも、長期間の診療を必要とすることを考えると、その対策の樹立はきわめて重要かつ急を要する問題であると考えられるのである。

表 3. 慢性関節リウマチ (RA)

	昭 和 49 年		昭 和 50 年		昭 和 51 年		昭 和 52 年		合 計	
	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数
北 海 道	48,796	0	52,192	0	48,370	5	52,771	26	202,129	31
%	—		—		0.01		0.04		0.01	
S.E.	—		—		0.0004		0.0008		0.0002	
東 北	164,617	29	156,250	85	166,186	146	159,053	211	646,106	471
%	0.01		0.05		0.08		0.13		0.07	
S.E.	0.0002		0.0005		0.0006		0.0008		0.0003	
関 東	75,701	97	70,470	145	83,868	147	82,099	213	312,138	602
%	0.12		0.20		0.17		0.25		0.19	
S.E.	0.0011		0.0015		0.0012		0.0015		0.0007	
北陸・信越	237,052	55	245,314	67	258,789	96	265,174	152	1,006,329	370
%	0.02		0.02		0.03		0.05		0.03	
S.E.	0.0002		0.0002		0.0003		0.0004		0.0001	
東 海	186,155	245	180,953	275	198,123	314	201,578	444	766,809	1,278
%	0.13		0.15		0.15		0.22		0.16	
S.E.	0.0007		0.0008		0.0008		0.0009		0.0004	
近 畿	830	3	1,870	0	1,613	2	2,075	2	6,388	7
%	0.36		—		0.12		0.09		0.10	
S.E.	0.0166		—		0.0080		0.0062		0.0037	
中 国	96,231	81	99,157	93	97,971	77	98,101	198	391,460	449
%	0.08		0.09		0.07		0.20		0.11	
S.E.	0.0008		0.0009		0.0008		0.0012		0.0005	
四 国	77,375	39	80,927	72	79,071	63	76,497	78	313,870	252
%	0.05		0.08		0.07		0.10		0.07	
S.E.	0.0007		0.0009		0.0009		0.0010		0.0004	
合 計	886,757	549	887,133	737	933,991	850	937,348	1,324	3,645,229	3,460
%	0.06		0.08		0.09		0.14		0.09	
S.E.	0.0002		0.0002		0.0002		0.0003		0.0001	

表 4. 慢性関節リウマチ (RA), 患者件数 10 万当り

	昭和49年	昭和50年	昭和51年	昭和52年	合計平均
北 海 道	0	0	10.34	49.27	15.34
東 北	17.62	54.40	87.85	132.66	72.90
関 東	128.14	205.76	175.28	259.44	192.86
北陸・信越	23.20	27.31	37.10	57.32	36.77
東 海	131.61	151.97	158.49	220.26	166.66
近 畿	361.45	0	123.99	96.39	109.58
中 国	84.17	93.79	78.59	201.83	114.70
四 国	50.40	88.97	79.68	101.96	80.29
合 計	61.70	83.08	91.00	141.25	94.92

表 5. 全身性エリテマトーデス (SLE)

	昭和 49 年		昭和 50 年		昭和 51 年		昭和 52 年		合 計	
	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数
北 海 道	48,796	1	52,192	1	48,370	4	52,771	5	202,129	11
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
東 北	164,617	20	156,250	10	166,186	11	159,053	14	646,106	55
%	0.01		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	0.0002		—		—		—		—	
関 東	75,701	2	70,470	9	83,868	5	82,099	7	312,138	23
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		0.0003		—		—		—	
北陸・信越	237,052	11	245,314	9	258,789	13	265,174	16	1,006,329	49
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
東 海	186,155	7	180,953	6	198,123	7	201,578	13	766,809	33
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
近 畿	830	0	1,870	0	1,613	0	2,075	0	6,388	0
%	—		—		—		—		—	
S.E.	—		—		—		—		—	
中 国	96,231	4	99,157	6	97,971	12	98,101	13	391,460	35
%	0.00		0.00		0.01		0.01		0.00	
S.E.	—		—		0.0003		0.0003		—	
四 国	77,375	2	80,927	2	79,071	2	76,497	1	313,870	7
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
合 計	886,757	47	887,133	43	933,991	54	937,348	69	3,645,229	213
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	

表 6. 全身性エリテマトーデス (SLE), 患者件数 10 万当り

	昭和 49 年	昭和 50 年	昭和 51 年	昭和 52 年	合計平均
北 海 道	2.05	1.92	8.27	9.47	5.44
東 北	12.15	6.40	6.62	8.80	8.51
関 東	2.64	12.77	5.96	8.53	7.37
北陸・信越	4.64	3.67	5.02	6.03	4.87
東 海	3.76	3.32	3.53	6.45	4.30
近 畿	0	0	0	0	0
中 国	4.16	6.05	12.25	13.25	8.94
四 国	2.58	2.47	2.53	1.30	2.23
合 計	5.30	4.85	5.78	7.36	5.84

表 7. 皮 膚 筋 炎 (DM)

	昭 和 49 年		昭 和 50 年		昭 和 51 年		昭 和 52 年		合 計	
	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数
北 海 道	48,796	0	52,192	0	48,370	0	52,771	2	202,129	2
%	—		—		—		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
東 北	164,617	0	156,250	0	166,186	2	159,053	5	646,106	7
%	—		—		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
関 東	75,701	0	70,470	0	83,868	0	82,099	1	312,138	1
%	—		—		—		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
北陸・信越	237,052	1	245,314	1	258,789	0	265,174	3	1,006,329	5
%	0.00		0.00		—		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
東 海	186,155	1	180,953	0	198,123	1	201,578	1	766,809	3
%	0.00		—		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
近 畿	830	0	1,870	0	1,613	0	2,075	0	6,388	0
%	—		—		—		—		—	
S.E.	—		—		—		—		—	
中 国	96,231	0	99,157	1	97,971	2	98,101	2	391,460	5
%	—		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
四 国	77,375	0	80,927	1	79,071	0	76,497	0	313,870	1
%	—		0.00		—		—		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
合 計	886,757	2	887,133	3	933,991	5	937,348	14	3,645,229	24
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	

表 8. 皮膚筋炎(DM), 患者件数10万当り

	昭和49年	昭和50年	昭和51年	昭和52年	合計平均
北 海 道	0	0	0	3.79	0.99
東 北	0	0	1.20	3.14	1.08
関 東	0	0	0	1.22	0.32
北陸・信越	0.42	0.41	0	1.13	0.50
東 海	0.54	0	0.50	0.50	0.39
近 畿	0	0	0	0	0
中 国	0	1.01	2.04	2.04	1.28
四 国	0	1.24	0	0	0.32
合 計	0.23	0.34	0.54	1.49	0.66

表9. 多発性筋炎 (PM)

	昭和49年		昭和50年		昭和51年		昭和52年		合計	
	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数
北海道	48,796	0	52,192	0	48,370	0	52,771	0	202,129	0
%	—		—		—		—		—	
S.E.	—		—		—		—		—	
東北	164,617	0	156,250	0	166,186	0	159,053	1	646,106	1
%	—		—		—		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
関東	75,701	0	70,470	0	83,868	0	82,099	1	312,138	1
%	—		—		—		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
北陸・信越	237,052	1	245,314	0	258,789	1	265,174	1	1,006,329	3
%	0.00		—		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
東海	186,155	1	180,953	0	198,123	2	201,578	2	766,809	5
%	0.00		—		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
近畿	830	0	1,870	0	1,613	0	2,075	0	6,388	0
%	—		—		—		—		—	
S.E.	—		—		—		—		—	
中国	96,231	0	99,157	1	97,971	0	98,101	1	391,460	2
%	—		0.00		—		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
四国	77,375	0	80,927	0	79,071	0	76,497	0	313,870	0
%	—		—		—		—		—	
S.E.	—		—		—		—		—	
合計	886,757	2	887,133	1	933,991	3	937,348	6	3,645,229	12
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	

表10. 多発性筋炎 (PM), 患者件数10万当り

	昭和49年	昭和50年	昭和51年	昭和52年	合計平均
北海道	0	0	0	0	0
東北	0	0	0	0.63	0.15
関東	0	0	0	1.22	0.32
北陸・信越	0.42	0	0.39	0.38	0.30
東海	0.54	0	1.01	0.99	0.65
近畿	0	0	0	0	0
中国	0	1.01	0	1.02	0.51
四国	0	0	0	0	0
合計	0.22	0.11	0.32	0.64	0.33

表11. 強 皮 症 (PSS)

	昭 和 49 年		昭 和 50 年		昭 和 51 年		昭 和 52 年		合 計	
	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数
北 海 道	48,796	0	52,192	0	48,370	0	52,771	0	202,129	0
%	—		—		—		—		—	
S.E.	—		—		—		—		—	
東 北	164,617	2	156,250	3	166,186	4	159,053	7	646,106	16
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
関 東	75,701	0	70,470	0	83,868	0	82,099	1	312,138	1
%	—		—		—		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
北陸・信越	237,052	3	245,314	3	258,789	5	265,174	6	1,006,329	17
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
東 海	186,155	1	180,953	0	198,123	0	201,578	5	766,809	6
%	0.00		—		—		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
近 畿	830	0	1,870	0	1,613	0	2,075	0	6,388	0
%	—		—		—		—		—	
S.E.	—		—		—		—		—	
中 国	96,231	1	99,157	1	97,971	1	98,101	5	391,460	8
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
四 国	77,375	0	80,927	0	79,071	0	76,497	0	313,870	0
%	—		—		—		—		—	
S.E.	—		—		—		—		—	
合 計	886,757	7	887,133	7	933,991	10	937,348	24	3,645,229	48
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	

表12. 強皮症 (PSS), 患者件数10万当り

	昭和49年	昭和50年	昭和51年	昭和52年	合計平均
北 海 道	0	0	0	0	0
東 北	1.21	1.92	2.41	4.40	2.48
関 東	0	0	0	1.22	0.32
北陸・信越	1.27	1.22	1.93	2.26	1.69
東 海	0.54	0	0	2.48	0.78
近 畿	0	0	0	0	0
中 国	1.04	1.01	1.02	5.10	2.04
四 国	0	0	0	0	0
合 計	0.79	0.79	1.07	2.56	1.32

表13. 結節性動脈周囲炎 (PN)

	昭和49年		昭和50年		昭和51年		昭和52年		合 計	
	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数
北海道	48,796	0	52,192	0	48,370	0	52,771	0	202,129	0
%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S.E.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東 北	164,617	0	156,250	0	166,186	0	159,053	1	646,106	1
%	—	—	—	—	—	—	0.00	—	0.00	—
S.E.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関 東	75,701	0	70,470	0	83,868	0	82,099	0	312,138	0
%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S.E.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北陸・信越	237,052	0	245,314	0	258,789	1	265,174	0	1,006,329	1
%	—	—	—	—	0.00	—	—	—	0.00	—
S.E.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東 海	186,155	1	180,953	1	198,123	1	201,578	2	766,809	5
%	0.00	—	0.00	—	0.00	—	0.00	—	0.00	—
S.E.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
近 畿	830	0	1,870	0	1,613	0	2,075	0	6,388	0
%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S.E.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中 国	96,231	0	99,157	1	97,971	1	98,101	3	391,460	5
%	—	—	0.00	—	0.00	—	0.00	—	0.00	—
S.E.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四 国	77,375	0	80,927	0	79,071	0	76,497	0	313,870	0
%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S.E.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	886,757	1	887,133	2	933,991	3	937,348	6	3,645,229	12
%	0.00	—	0.00	—	0.00	—	0.00	—	0.00	—
S.E.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表14. 結節性動脈周囲炎 (PN), 患者件数10万当り

	昭和49年	昭和50年	昭和51年	昭和52年	合計平均
北海道	0	0	0	0	0
東 北	0	0	0	0.63	0.15
関 東	0	0	0	0	0
北陸・信越	0	0	0.39	0	0.10
東 海	0.54	0.55	0.50	0.99	0.65
近 畿	0	0	0	0	0
中 国	0	1.01	1.02	3.06	1.28
四 国	0	0	0	0	0
合 計	0.11	0.23	0.32	0.64	0.33

表15. リウマチ熱 (RF)

	昭和49年		昭和50年		昭和51年		昭和52年		合 計	
	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数	件数総計	例数
北 海 道	48,796	0	52,192	0	48,370	0	52,771	4	202,129	4
%	—		—		—		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
東 北	164,617	5	156,250	4	166,186	8	159,053	11	646,106	28
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
関 東	75,701	12	70,470	12	83,868	12	82,099	19	312,138	55
%	0.01		0.01		0.01		0.02		0.01	
S.E.	0.0003		0.0003		0.0003		0.0004		0.0001	
北陸・信越	237,052	14	245,314	3	258,789	3	265,174	3	1,006,329	23
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
東 海	186,155	0	180,953	2	198,123	2	201,578	10	766,809	14
%	—		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
近 畿	830	0	1,870	0	1,613	0	2,075	0	6,388	0
%	—		—		—		—		—	
S.E.	—		—		—		—		—	
中 国	96,231	6	99,157	4	97,971	4	98,101	9	391,460	23
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
四 国	77,375	4	80,927	5	79,071	2	76,497	3	313,870	14
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	
合 計	886,757	41	887,133	30	933,991	31	937,348	59	3,645,229	161
%	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
S.E.	—		—		—		—		—	

表16. リウマチ熱(RF), 患者件数10万当り

	昭和49年	昭和50年	昭和51年	昭和52年	合計平均
北 海 道	0	0	0	7.58	1.98
東 北	3.04	2.56	4.81	6.92	4.33
関 東	15.85	17.03	14.31	23.14	17.62
北陸・信越	5.91	1.22	1.16	1.13	2.29
東 海	0	1.11	1.01	4.96	1.83
近 畿	0	0	0	0	0
中 国	6.23	4.03	4.08	9.17	5.88
四 国	5.17	6.18	2.53	3.92	4.46
合 計	4.62	3.38	3.32	6.29	4.42

表17. その他のリウマチ性疾患

	件数総計	ベーチェット病		シェーグレン症候群		フェルティ－症候群		MCTD		若年性関節リウマチ		Overlap Syndrome		合 計	
		例数	% S.E.	例数	% S.E.	例数	% S.E.	例数	% S.E.	例数	% S.E.	例数	% S.E.	例数	% S.E.
北 海 道	202,129	10	0.00 —	2	0.00 —	0	—	0	—	0	—	0	—	12	0.00 —
東 北	646,106	33	0.00 —	12	0.00 —	0	—	1	0.00 —	0	—	0	—	46	0.00 —
関 東	312,138	6	0.00 —	4	0.00 —	1	0.00 —	0	—	0	—	0	—	11	0.00 —
北陸・信越	1,006,329	58	0.00 —	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	58	0.00 —
東 海	766,809	3	0.00 —	5	0.00 —	1	0.00 —	0	—	0	—	0	—	9	0.00 —
近 畿	6,388	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
中 国	391,460	18	0.00 —	7	0.00 —	0	—	0	—	0	—	0	—	25	0.00 —
四 国	313,870	11	0.00 —	1	0.00 —	1	0.00 —	0	—	2	0.00 —	2	0.00 —	17	0.00 —
合 計	3,645,229	139	0.00 —	31	0.00 —	3	0.00 —	1	0.00 —	2	0.00 —	2	0.00 —	178	0.00 —

表18. その他のリウマチ性疾患，患者件数10万当り

	ベーチェット病	シェーグレン症候群	フェルティ－症候群	MCTD	若年性関節リウマチ	Overlap Syndrome	合計平均
北 海 道	4.95	0.99	0	0	0	0	5.94
東 北	5.11	1.86	0	0.15	0	0	7.12
関 東	1.92	1.28	0.32	0	0	0	3.52
北陸・信越	5.76	0	0	0	0	0	5.76
東 海	0.39	0.65	0.13	0	0	0	1.17
近 畿	0	0	0	0	0	0	0
中 国	4.60	1.79	0	0	0	0	6.39
四 国	3.50	0.32	0.32	0	0.64	0.64	5.42
合 計	3.81	0.85	0.08	0.03	0.05	0.05	4.88

表19. 北海道

(患者件数10万当り)

	昭.49年	昭.50年	昭.51年	昭.52年	合計平均
RA	0	0	10.34	49.27	15.34
SLE	2.05	1.92	8.27	9.47	5.44
DM	0	0	0	3.79	0.99
PM	0	0	0	0	0
PSS	0	0	0	0	0
PN	0	0	0	0	0
RF	0	0	0	7.58	1.98

表20. 東北

(患者件数10万当り)

	昭.49年	昭.50年	昭.51年	昭.52年	合計平均
RA	17.62	54.40	87.85	132.66	72.90
SLE	12.15	6.40	6.62	8.80	8.51
DM	0	0	1.20	3.14	1.08
PM	0	0	0	0.63	0.15
PSS	1.21	1.92	2.41	4.40	2.48
PN	0	0	0	0.63	0.15
RF	3.04	2.56	4.81	6.92	4.33

表21. 関東

(患者件数10万当り)

	昭.49年	昭.50年	昭.51年	昭.52年	合計平均
RA	128.14	205.76	175.28	259.44	192.86
SLE	2.64	12.77	5.96	8.53	7.37
DM	0	0	0	1.22	0.32
PM	0	0	0	1.22	0.32
PSS	0	0	0	1.22	0.32
PN	0	0	0	0	0
RF	15.85	17.03	14.31	23.14	17.62

表22. 北陸・信越

(患者件数10万当り)

	昭.49年	昭.50年	昭.51年	昭.52年	合計平均
RA	23.20	27.31	37.10	57.32	36.77
SLE	4.64	3.67	5.02	6.03	4.87
DM	0.42	0.41	0	1.13	0.50
PM	0.42	0	0.39	0.38	0.30
PSS	1.27	1.22	1.93	2.26	1.69
PN	0	0	0.39	0	0.10
RF	5.91	1.22	1.16	1.13	2.29

表23. 東海

(患者件数10万当り)

	昭.49年	昭.50年	昭.51年	昭.52年	合計平均
RA	131.61	151.97	158.49	220.26	166.66
SLE	3.76	3.32	3.53	6.45	4.30
DM	0.54	0	0.50	0.50	0.39
PM	0.54	0	1.01	0.99	0.65
PSS	0.54	0	0	2.48	0.78
PN	0.54	0.55	0.50	0.99	0.65
RF	0	1.11	1.01	4.96	1.83

表24. 近畿

(患者件数10万当り)

	昭.49年	昭.50年	昭.51年	昭.52年	合計平均
RA	361.45	0	123.99	96.39	109.58
SLE	0	0	0	0	0
DM	0	0	0	0	0
PM	0	0	0	0	0
PSS	0	0	0	0	0
PN	0	0	0	0	0
RF	0	0	0	0	0

表25. 中国

(患者件数10万当り)

	昭.49年	昭.50年	昭.51年	昭.52年	合計平均
RA	84.17	93.79	78.59	201.83	114.70
SLE	4.16	6.05	12.25	13.25	8.94
DM	0	1.01	2.04	2.04	1.28
PM	0	1.01	0	1.02	0.51
PSS	1.04	1.01	1.02	5.10	2.04
PN	0	1.01	1.02	3.06	1.28
RF	6.23	4.03	4.08	9.17	5.88

表26. 国 国

(患者件数10万当り)

	昭.49年	昭.50年	昭.51年	昭.52年	合計平均
RA	50.40	88.97	79.68	101.96	80.29
SLE	2.58	2.47	2.53	1.30	2.23
DM	0	1.24	0	0	0.32
PM	0	0	0	0	0
PSS	0	0	0	0	0
PN	0	0	0	0	0
RF	5.17	6.18	2.53	3.92	4.46

本稿を終るに当って、たいへん多忙な診療の時間を割いて、本調査に御協力を賜った全国各医療機関の名称を記し、深甚の感謝の意を表します。また、本調査に当って、貴重な御助言と御援助を賜った全国共済連医務部長井上喜美雄博士、日本農村医学会事務局平塚義一事務局長ならびに林弘子女史に厚く感謝いたします。

.....

御協力を賜った諸医療機関および院長名

北海道地区 総合病院帯広厚生病院（石丸 修） 勤務協中央病院（藤井敬三） 北海道栄養短大（田坂重元） 網走厚生総合病院（香取力勇） 上湧別厚生病院（松田 禅） 沼田厚生病院（近江谷淳一） 丸瀬布厚生病院（金谷 隆）	〔埼玉県〕 幸手総合病院（水間正冬） 北陸、信越地区 〔長野県〕 篠ノ井病院（新村 明） 信州大学公衆衛生（釘本 完）	南島病院（江川義勝） 鈴鹿厚生病院（桜井慎一郎） 〔岐阜県〕 総合病院昭和病院（黒岩秀夫） 揖斐病院（星野睦夫） 岐北病院（樫木良友） 和良村国保病院（中野重男）
東北地区 〔岩手県〕 岩手県立山田病院（高野喜正） 〔秋田県〕 西成診療所（西成辰雄） 山本組合総合病院（大淵宏道） 秋田組合総合病院（峯木照夫） 仙北組合総合病院（五十嵐 卓） 平鹿総合病院（林 茂樹） 雄勝中央病院（西村 宏）	〔新潟県〕 糸魚川病院（板谷啓司） 頸南病院（岡田宏一） 上越総合病院（樽田 佐） 中条病院（広瀬辰夫） 魚沼総合病院（小林祥悟） 中央総合病院（亀山宏平） 三条総合病院（中川昭英） 佐渡総合病院（瀬川宗助） 羽茂病院（鈴木芳郎）	近畿地区 〔大阪府〕 農協立横山病院（広嶋明男） 中国地区 〔広島県〕 尾道総合病院（小先誠也） 広島総合病院（高科成良） 府中総合病院（高田超爾） 広島大学第2内科（西本幸男教授）
〔福島県〕 白河厚生総合病院（峯山 泰） 塙厚生病院（岩間倫男） 高田厚生病院（阿部吉夫） 坂下厚生総合病院（村上秀達） 鹿島厚生病院（菊田重治）	〔富山県〕 高岡病院（林 脩） 東海地区 〔静岡県〕 遠州総合病院（安田正憲） 静岡厚生病院（榎本敏雄） 中伊豆温泉病院（間 得之）	〔山口県〕 周東総合病院（有馬和雄） 長門総合病院（中山 純） 滝部病院（橋本正輝）
関東地区 〔茨城県〕 総合病院水戸協同病院（鈴木達也） 高萩協同病院（浦井利雄） 〔栃木県〕 上都賀病院（石塚正治） 佐野厚生病院（武井 宏）	〔愛知県〕 愛北病院（伊藤恭平） 昭和病院（加藤 始） 尾西病院（木村章二） 〔三重県〕 中勢総合病院（筒井淳平） 員弁厚生病院（水野貴男）	〔香川県〕 屋島総合病院（北出公俊） 滝宮病院（塩田欣栄） 〔高知県〕 農協総合病院（高木義博）

Statistical Study of Rheumatic Diseases in Rural Population in Different Parts of Japan

Shunichi Hirose* and Kiyochi Noda

Incidence of rheumatic diseases including rheumatoid arthritis falls to about 3 per cent of the whole population in Japan, but there has been no particular survey made so far in regard to rural population. With a view to grasping the situation of rheumatic diseases among rural people, we sent out a questionnaire to each medical service under the Agricultural Cooperative Association, and tried to surmise the incidence of these diseases in the locality on the basis of the number of patients treated by it. Diagnostic criteria of rheumatic diseases rested with each service. For each type of disease the rate of cases treated in each district against the total number of cases was obtained. Throughout the four year period of survey, the following trends were observed with regard to such rates: (1) Incidence of rheumatoid arthritis(RA) was higher in Kanto, Tokai and Chugoku districts, while it was lower in Hokkaido and Hokuriku-Shin-etsu districts; (2) Incidence of systemic lupus erythematosus (SLE) was higher in Chugoku and Tohoku districts, and was lower in Shikoku district; (3) Incidence of dermatomyositis (DM) was higher in Chugoku, Tohoku and Hokkaido districts, and lower in Kanto and Shikoku districts; (4) Incidence of polymyositis (PM) was higher in Tokai and Chugoku districts, while it was not reported from Hokkaido and Shikoku districts; (5) Incidence of scleroderma (PSS) was higher in Tohoku and Chugoku districts, but it was not reported from Hokkaido and Shikoku districts; (6) Incidence of periarteritis nodosa (PN) was higher in Tokai district, but was not reported from Hokkaido, Kanto and Shikoku districts; (7) Incidence of rheumatic fever (RF) was higher in Kanto district and lower in Tokai and Hokkaido districts; (8) Incidence of Behcet's syndrome (Beh), Sjogren's syndrome (SjS), Felty's syndrome (F), mixed connective tissue disease (MCTD), juvenile rheumatoid arthritis (JRA), overlap syndrome (OS) was on the whole higher in Tohoku and Chugoku districts, and lower in Tokai district.

Through this survey, we could at least gain a general view of rheumatic diseases treated in medical services under the Agricultural Cooperative Association. It became also clear that all of these diseases were on the increase. Further survey will have to be made in the near future in the light of respective diagnostic criteria.

* *Department of Internal Medicine and Physical Therapy, Faculty of Medicine, Tokyo University*

** *Department of Internal Medicine, Kanagawa Dental College*